



海老沼小だより

～かしこく やさしく たくましく生き抜く子
笑顔と歌声あふれる学校～

7月号

令和4年6月30日

さいたま市立海老沼小学校



はるかな未来 ともに進む

校長 大島 恵美

7月1日は、海老沼小学校の創立記念日です。今年で創立43年目になります。

海老沼小学校は昭和55年4月に開校しました。旧大宮市の時にできた小学校36校中35番目の開校でした。

海老沼小学校の「海老沼」の由来は、二つの説があります。一つはここにあった沼が、上から見るとエビの形をしていたという説。もう一つは、「手長エビ」がたくさん生息していたり、海老藻が繁殖していたりしていたという説です。「海老沼」という地名が、文献の中で登場するのは江戸時代の後半です。ちょうど、伊沢弥惣兵衛の新田開拓の頃です。

校歌は、詩人 大木 実 さんの作詞です。作詞をする前、学校の様子を見学に来てくださった時、とてもよい天気だったそうです。太陽と緑と風がいっぱいという情景を

「えびぬまの空、青く晴れて、朝のひかり、明るい窓べ」

と、校歌に盛り込んでくださったそうです。本校の校歌は、二部合唱で歌います。美しいハーモニーは、海老沼小の自慢です。

スクールカラーは、この時の青空の色「スカイブルー」です。校旗を毎日掲揚していますが、スカイブルーの校旗が青空に映えとてもさわやかです。

こうして生まれた海老沼小学校です。開校3年目には、児童数1091名と43年の歴史の中で最高の児童数となりました。現在は646名が通っています。

朝から明るく元気なえびっ子のあいさつが響くふれあい広場の花壇は、創立30周年記念の花壇です。校舎の前にある花壇や、十字花壇は、ご近所の方が、海老沼小学校の開校当初に、手作りで作ってくださったものだそうです。また、花いっぱいの海老沼小学校のお花を植えてくださっているのは、PTAの保護者の方々です。(先日、PTAの清掃活動で除草作業も行っていました。ありがとうございました。)

海老沼小学校は、地域の方々、保護者の皆様に支えられ、見守られて、歴史と伝統を築いてきました。これからも、すべての子どもたちが、毎日楽しく登校できる笑顔と歌声あふれる学校を目指し、地域の方々、保護者の皆様の御支援と御協力を賜りながら、ともに、未来を生きる子どもたちを育ててまいります。

これからも、よろしく願いいたします。

先日、児童会の児童が、今年度のテーマ「みんなやさしく助け合い 笑顔あふれる海老沼小」の『助け合い』について、発達段階に合わせ、劇にしてわかりやすく説明していました。

「相手がどう思っているか、その『思い』は見えないから助けるのは難しいですが、相手の様子をよく見て、声をかけていきましょう。」と最後に締めくくっていました。

子どもたちも頑張っています！